

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	22099	
事業名	融雪施設設置資金貸付金等						
評価担当課	所属名	建)土木部 雪対策室計画課					
	課長名	新沼 俊司	担当者名	東宮 新	電話番号	011-211-2682	
施策名	主	雪と共存した暮らしの推進					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	冬期間における生活環境の向上を支援することを目的としている。				
		長期	冬期間における生活環境の向上を支援することを目的としている。				
	取組内容	融雪施設を宅地内に設置し、宅地内及び玄関前に堆積する雪を処理しようとする市民に対して、その設置に要する資金を無利子で融資あつせんする。					
	実施結果	11件の融資実行があり、融資額は15,450千円であった。					
事業実施における工夫点	本市ホームページ及び広報さっぽろへの掲載のほか、各区役所及び各金融機関へのパンフレットの配架等を行った。						
対象者	市内の個人及び法人			開始	0年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市融雪施設設置資金融資あつせん要綱						
他都市の状況	石狩市で同様の事業を行っている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	52,742	45,299	34,737	45,734	
うち特定財源	52,166	44,895	34,363	45,215	
人工	0.8	0.7	0.7	0.6	
人件費	5,760	5,040	5,040	4,320	
計(事業費+人件費)	58,502	50,339	39,777	50,054	
事業費の内訳	令和3年度決算	補助金:374千円、貸付金:34,363千円			
	令和4年度予算	補助金:519千円、貸付金:45,215千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	融資実行件数		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		9	25	11	25
活動指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	申請件数はここ数年横ばいで推移しているものの、市民からの問合せもコンスタントにあることから、一定の需要は捉えられており、融雪施設の普及に貢献している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	融雪施設の設置費用と比較して妥当と考えられる。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	市民への情報提供が十分にされており、適切であると考えられる。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	申請件数はほぼ横ばいであるが、市民からの問合せもコンスタントにあり、機械の更新に関する申請も増えつつある。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	市民が敷地内に融雪施設を設置し雪処理への自助努力をすることに対する支援として実施している事業であるが、地域の排雪抑制につながるような制度運用の仕方を検討する。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	特になし			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	当該事業は、敷地内雪処理に関する重要な施策であり、今後はより地域の排雪抑制につながるような制度運用を目指していく必要があるため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 地域の排雪抑制をより促進する制度運用を目指していく。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 申請件数の推移を見ながら、実態に即した金額とする。			見直し効果額